

## II 意識

### 1 男女共同参画全般について

#### (1) 男女の平等意識

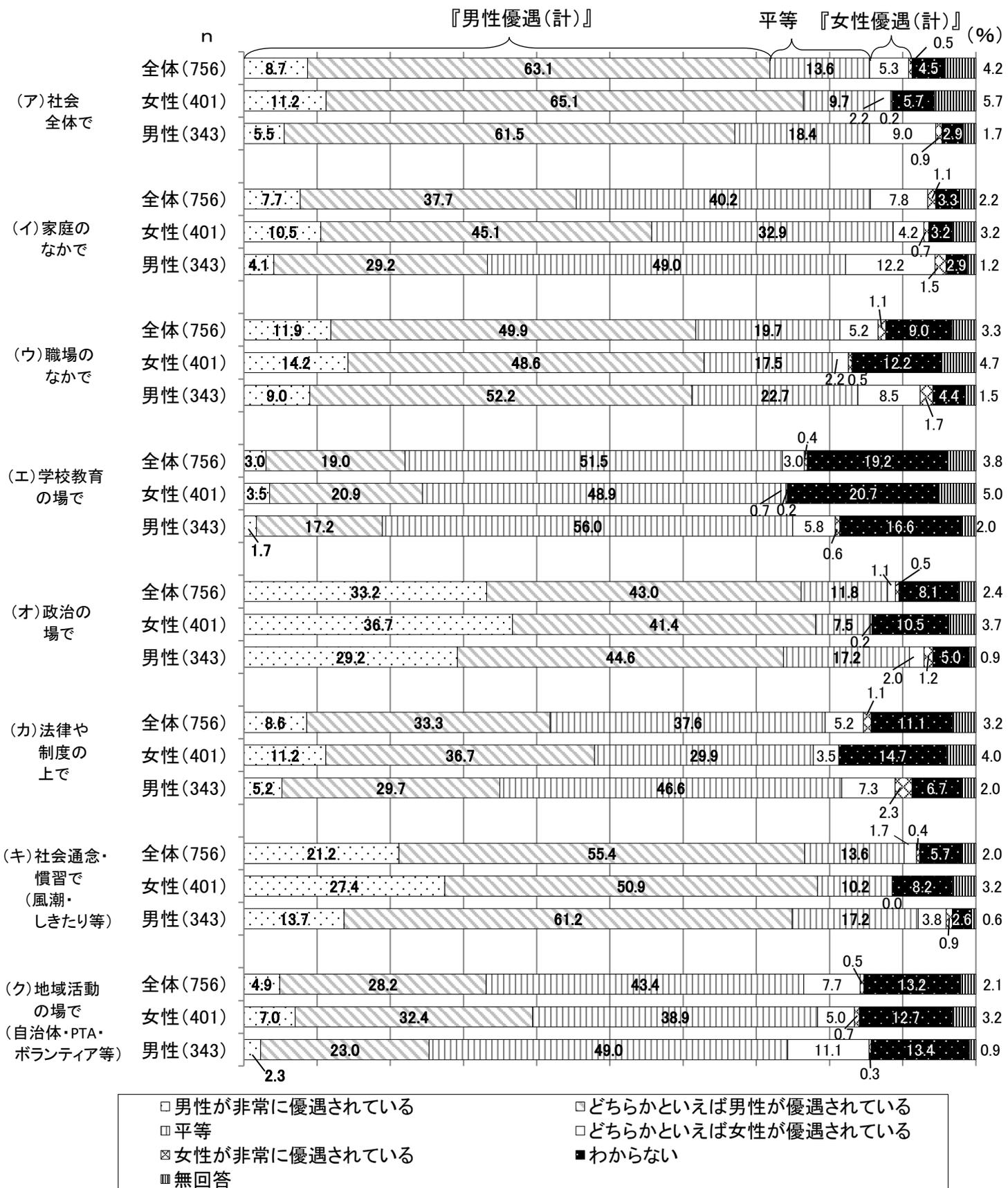
令和元年11月に実施した「男女共同参画の実現に向けての県民意識調査（以下「県民意識調査」という。）」において、男女平等意識について聞いたところ、どの分野においても、『男性優遇（計）』が『女性優遇（計）』を上回っています。

各分野別に見ると、『男性優遇（計）』は，“（キ）社会通念・慣習で（風潮・しきたり等）”が76.6%と最も高く、次いで“（オ）政治の場で”が76.2%，“（ア）社会全体で”が71.8%の順となっています。

また、「平等」と思う分野は，“（エ）学校教育の場で”が51.5%と最も高く、次いで“（ク）地域活動の場で（自治会・PTA・ボランティア等）”が43.4%，“（イ）家庭のなかで”が40.2%の順に高く，“（オ）政治の場で”が11.8%と最も低いです。

さらに、『女性優遇（計）』は、どの分野でも10.0%未満となっています。

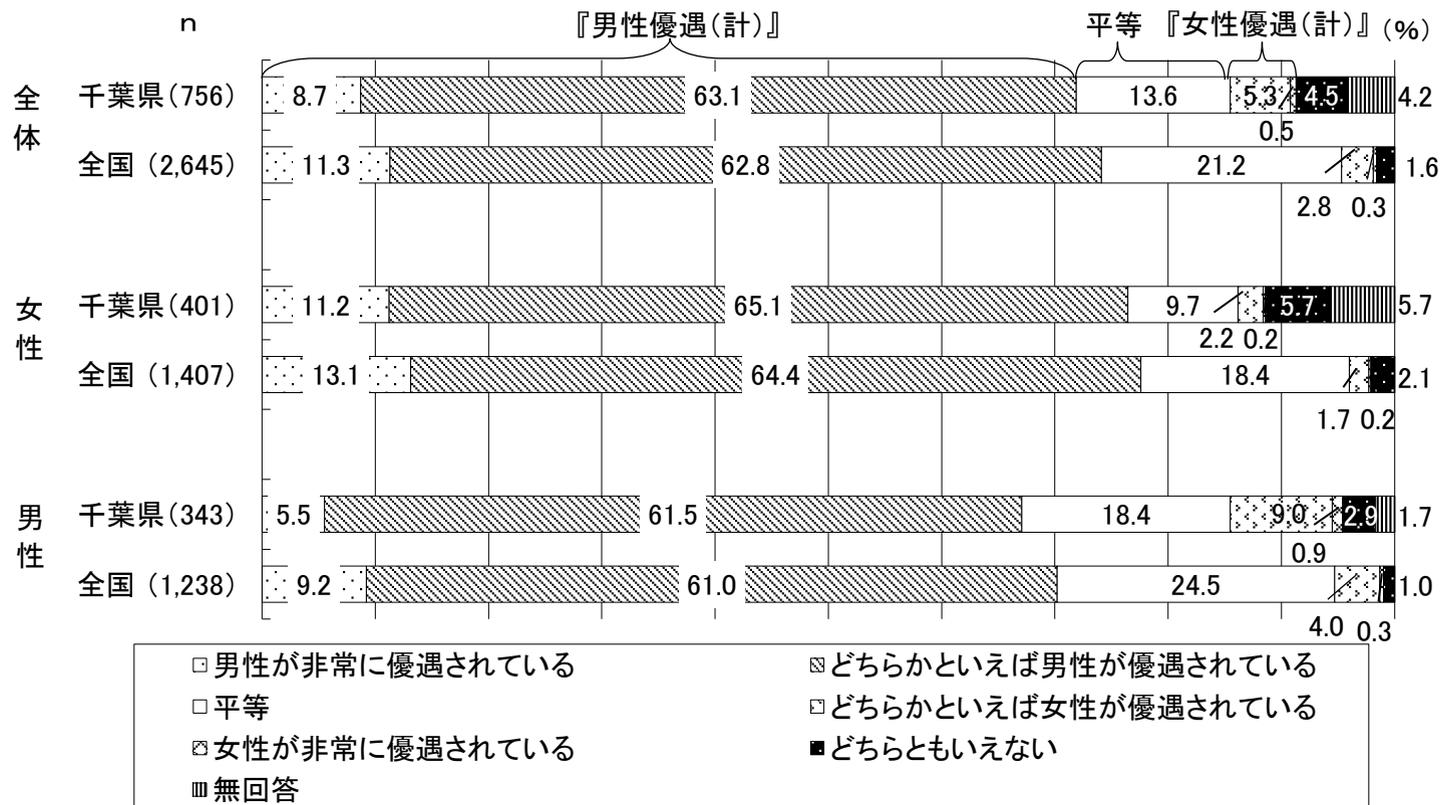
図表6 男女の平等意識(千葉県)



資料出典: 千葉県男女共同参画課 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

県民意識調査と全国調査の社会全体における男女平等意識を比較すると、大きな差異は見られません。また、全体の「平等」は、千葉県が全国よりも7.6ポイント低いです。

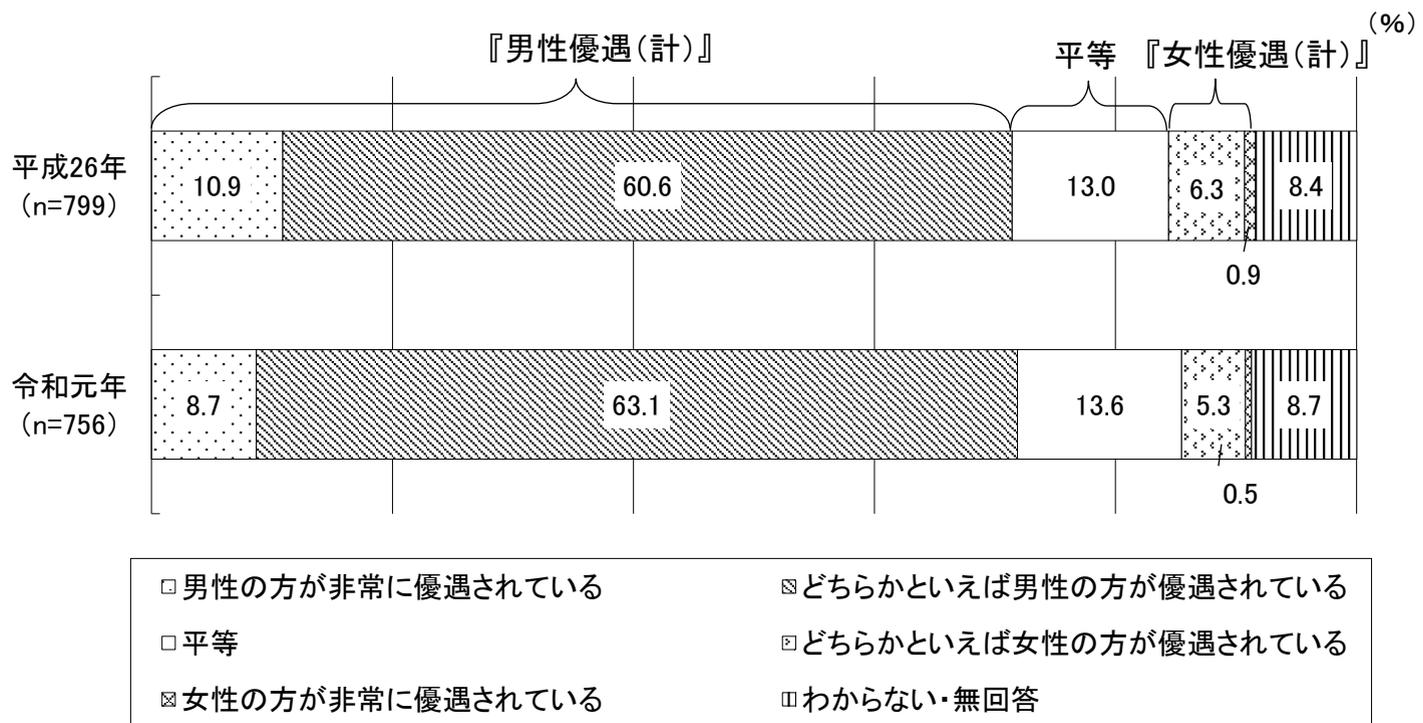
図表7 男女の平等意識(千葉県・全国)



資料出典: 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和元年9月)  
 千葉県男女共同参画課  
 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

社会全体における男女平等意識を前回調査(平成26年)と比較すると、大きな差異はみられません。

図表8 男女の平等意識の推移(千葉県)

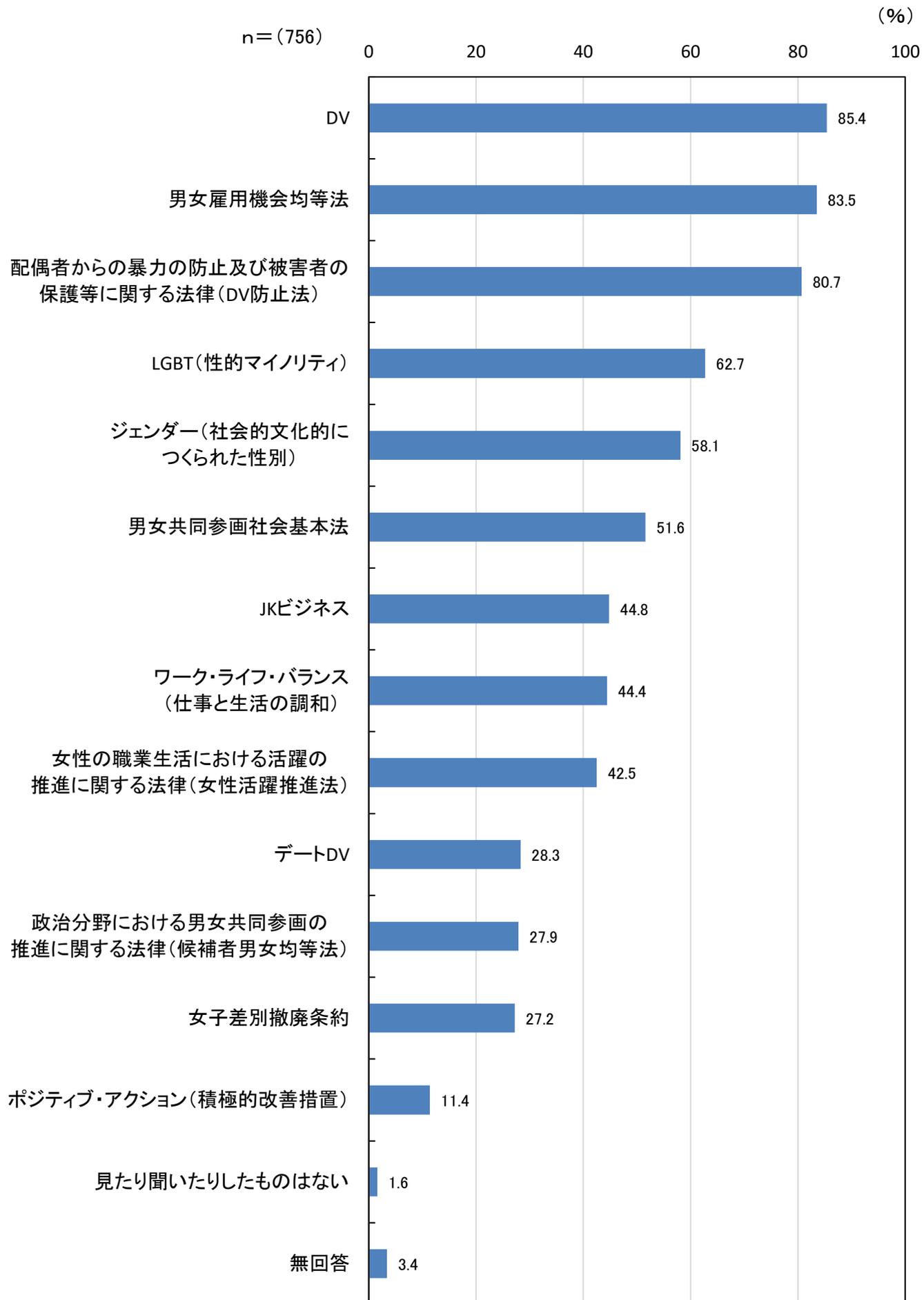


資料出典: 千葉県男女共同参画課  
 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)  
 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(平成26年10月)

(2)言葉の認知度

県民意識調査において、言葉の認知度について聞いたところ、「DV」が85.4%と最も高く、次いで「男女雇用機会均等法」が83.5%、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律（DV防止法）」が80.7%となっています。

図表9 言葉の認知度(千葉県)

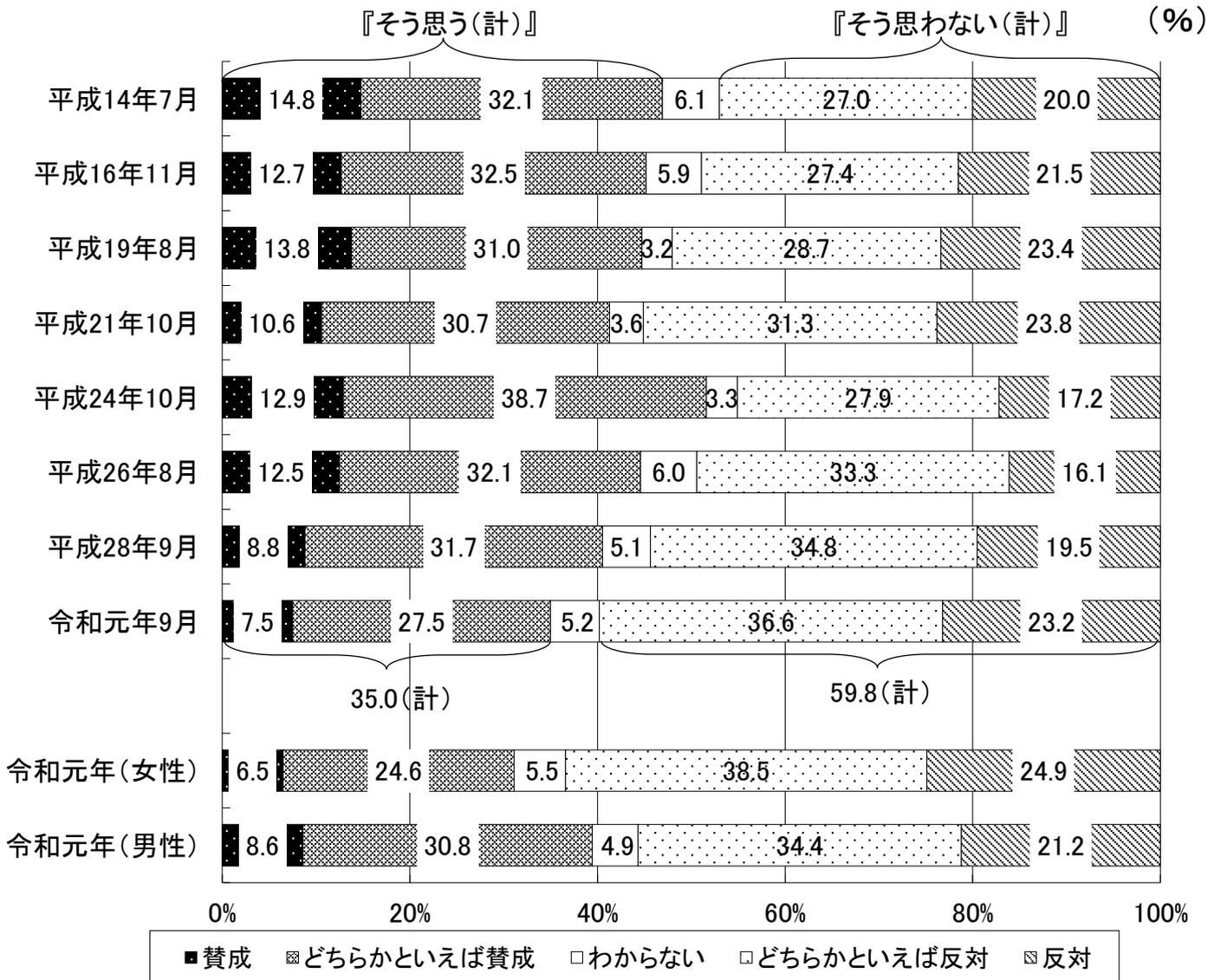


資料出典：千葉県男女共同参画課  
「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

## 2 男女の役割分担

あ令和元年度の内閣府調査によると、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識について、『そう思わない(計)』が『そう思う(計)』を上回っています。

図表10 「男は仕事、女は家庭」の考え方の推移(全国)

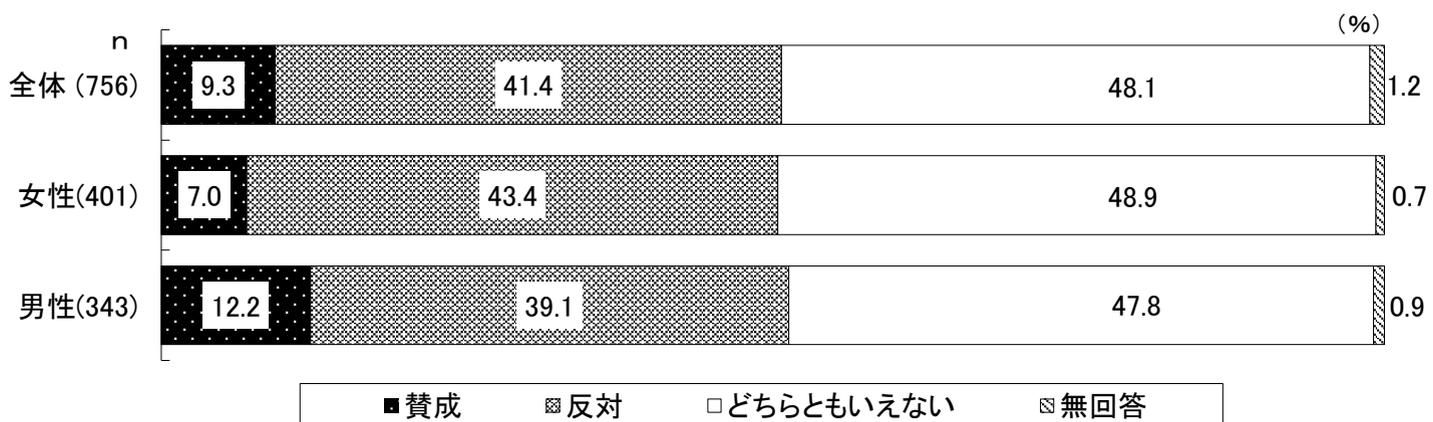


資料出典: 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」(令和元年9月)  
 ※平成26年8月のみ内閣府「女性の活躍推進に関する世論調査」

県民意識調査において、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識について聞いたところ、「賛成」が9.3%、「反対」が41.4%と、「反対」が「賛成」を大きく上回っています。

性別で見ると、「賛成」は男性が女性よりも5.2ポイント高くなっています。

図表11 「男は仕事、女は家庭」の考え方(千葉県)



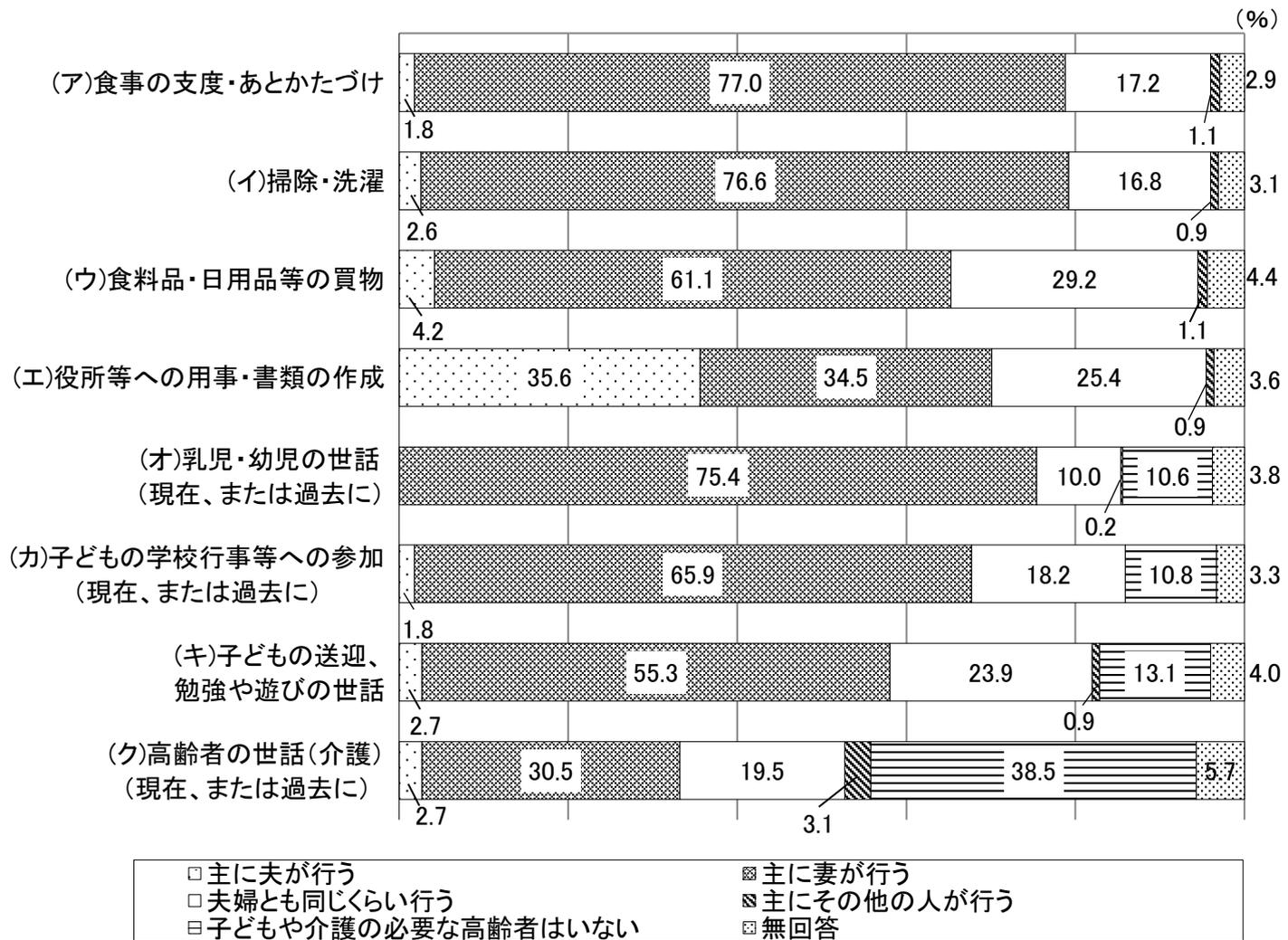
資料出典: 千葉県男女共同参画課  
 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

図表12 家事等の役割分担(千葉県)

県民意識調査において、家事等の役割分担の現実について聞いたところ、「主に夫が行う」は、「(エ) 役所等への用事・書類の作成」が35.6%で最も高くなっています。

「主に妻が行う」は、「(ア) 食事の支度・あとかたづけ」が77.0%で最も高く、次いで「(イ) 掃除・洗濯」が76.6%、「(オ) 乳児・幼児の世話(現在、または過去に)」が75.4%となっています。

「夫婦とも同じくらい行う」は、「(ウ) 食料品・日用品等の買物」が29.2%で最も高く、次いで「(エ) 役所等への用事・書類の作成」が25.4%、「(キ) 子どもの送迎、勉強や遊びの世話」が23.9%となっています。



資料出典: 千葉県男女共同参画課  
「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

図表13 家事関連時間\*(週全体平均)(千葉県・全国)

(単位: 時間, 分)

	千葉県		全国	
	女性	男性	女性	男性
家事	2:34	0:20	2:24	0:19
介護・看護	0:04	0:02	0:06	0:02
育児	0:25	0:05	0:24	0:06
買い物	0:36	0:19	0:34	0:17
合計	3:39	0:46	3:28	0:44

図表14 曜日別家事関連時間\*(千葉県)

(単位: 時間, 分)

	女性	男性
平日	3:34	0:35
土曜日	3:52	1:07
日曜日	3:51	1:16

資料出典: 総務省「社会生活基本調査」(平成28年)

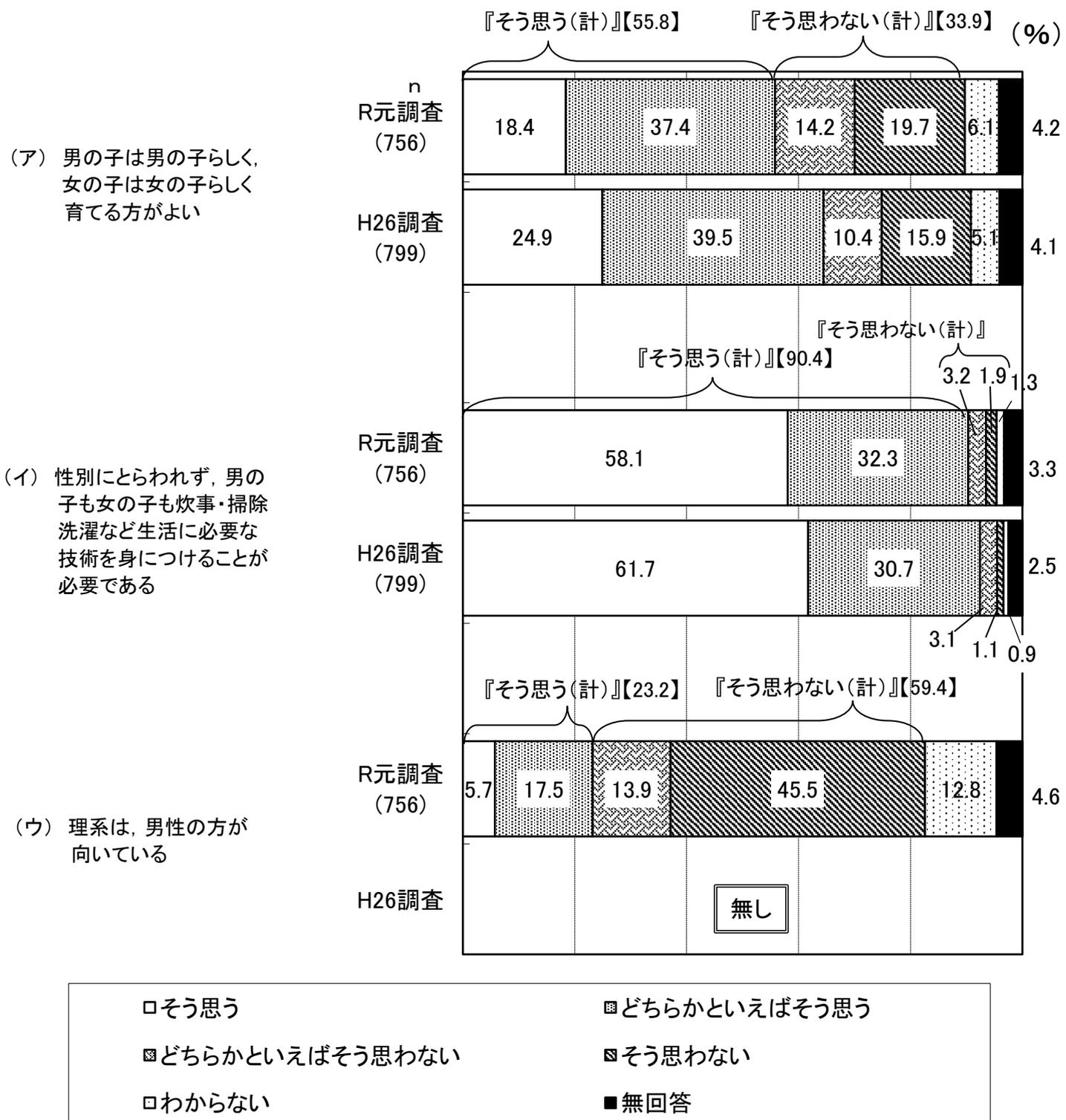
\* ここでいう「家事関連時間」とは、10歳以上の人で「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」を行っている時間を指す。

### 3 子どもの教育における男女平等の意識

県民意識調査において、子どもの教育における男女平等の意識について聞いたところ、『そう思う(計)』は、“(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい”が55.8%、“(イ) 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要である”が90.4%、“(ウ) 理系は、男性の方が向いている”が23.2%となっています。

『そう思わない(計)』は、“(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい”が33.9%、“(イ) 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要である”が5.1%、“(ウ) 理系は、男性の方が向いている”が59.4%となっています。

図表15 子どもの教育における男女平等の意識(千葉県)



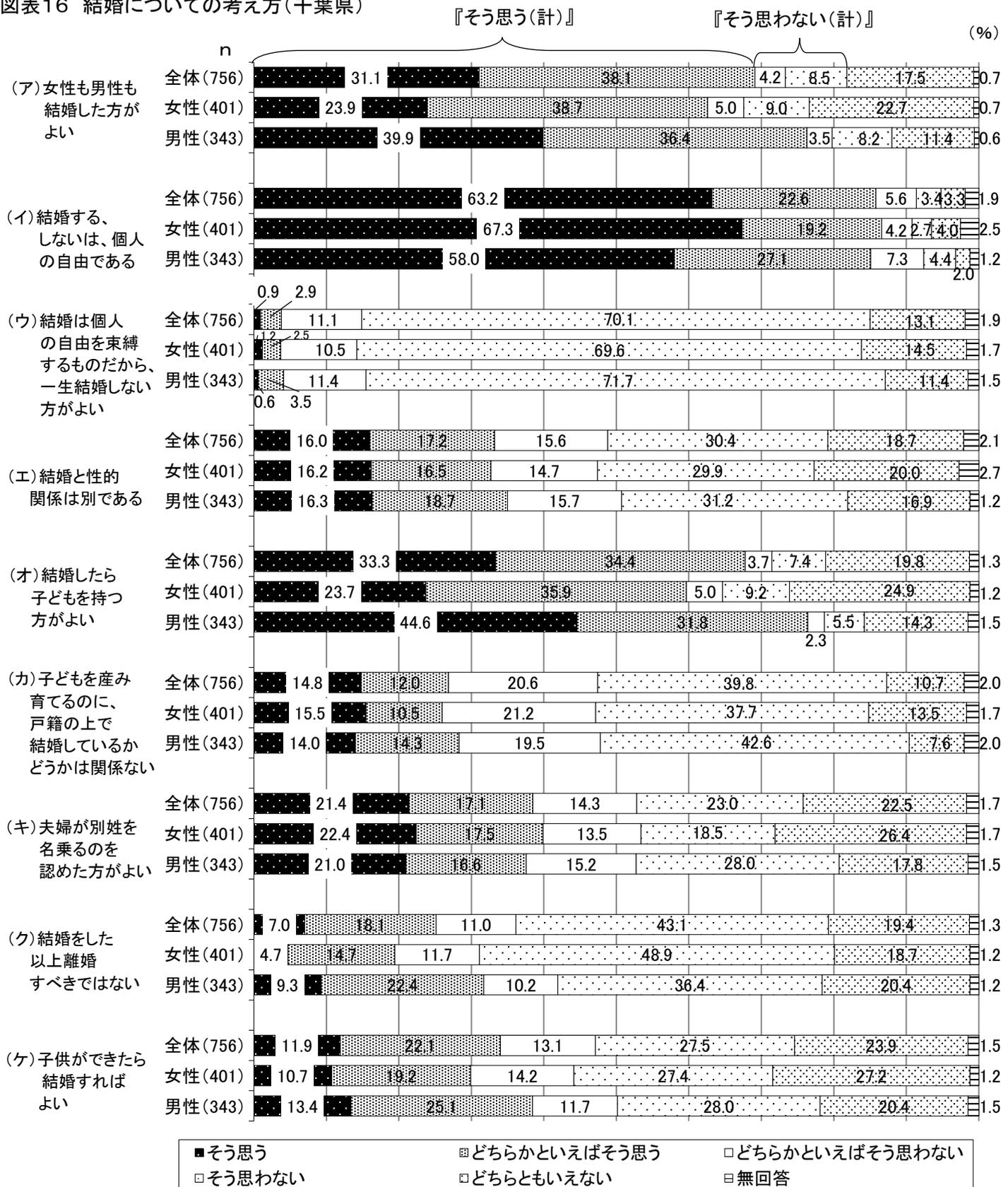
資料出典: 千葉県男女共同参画課  
「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

### 4 結婚についての考え方

県民意識調査において、結婚についての考えを聞いたところ、『そう思う(計)』は、“(イ)結婚する、しないは、個人の自由である”が85.8%で最も高く、次いで“(ア)女性も男性も結婚した方がよい”が69.2%、“(オ)結婚したら子どもを持つ方がよい”が67.7%となっています。一方、『そう思わない(計)』は、“(ウ)結婚は個人の自由を束縛するものだから、一生結婚しない方がよい”が81.2%で最も高く、次いで“(カ)子どもを産み育てるのに、戸籍の上で結婚しているかどうかは関係ない”が60.4%、“(ク)結婚をした以上、離婚すべきではない”が54.1%となっています。

性別でみると、『そう思う(計)』は“(オ)結婚したら子どもを持つ方がよい”で男性が女性よりも16.8ポイント高くなっています。“(ア)女性も男性も結婚した方がよい”も男性が13.7ポイント、“(ク)結婚をした以上離婚すべきではない”も男性が12.3ポイント高くなっています。一方、『そう思わない(計)』は“(ク)結婚をした以上離婚すべきではない”で女性が男性よりも14.0ポイント高く、“(オ)結婚したら子どもを持つ方がよい”も女性が6.4ポイント高くなっています。

図表16 結婚についての考え方(千葉県)

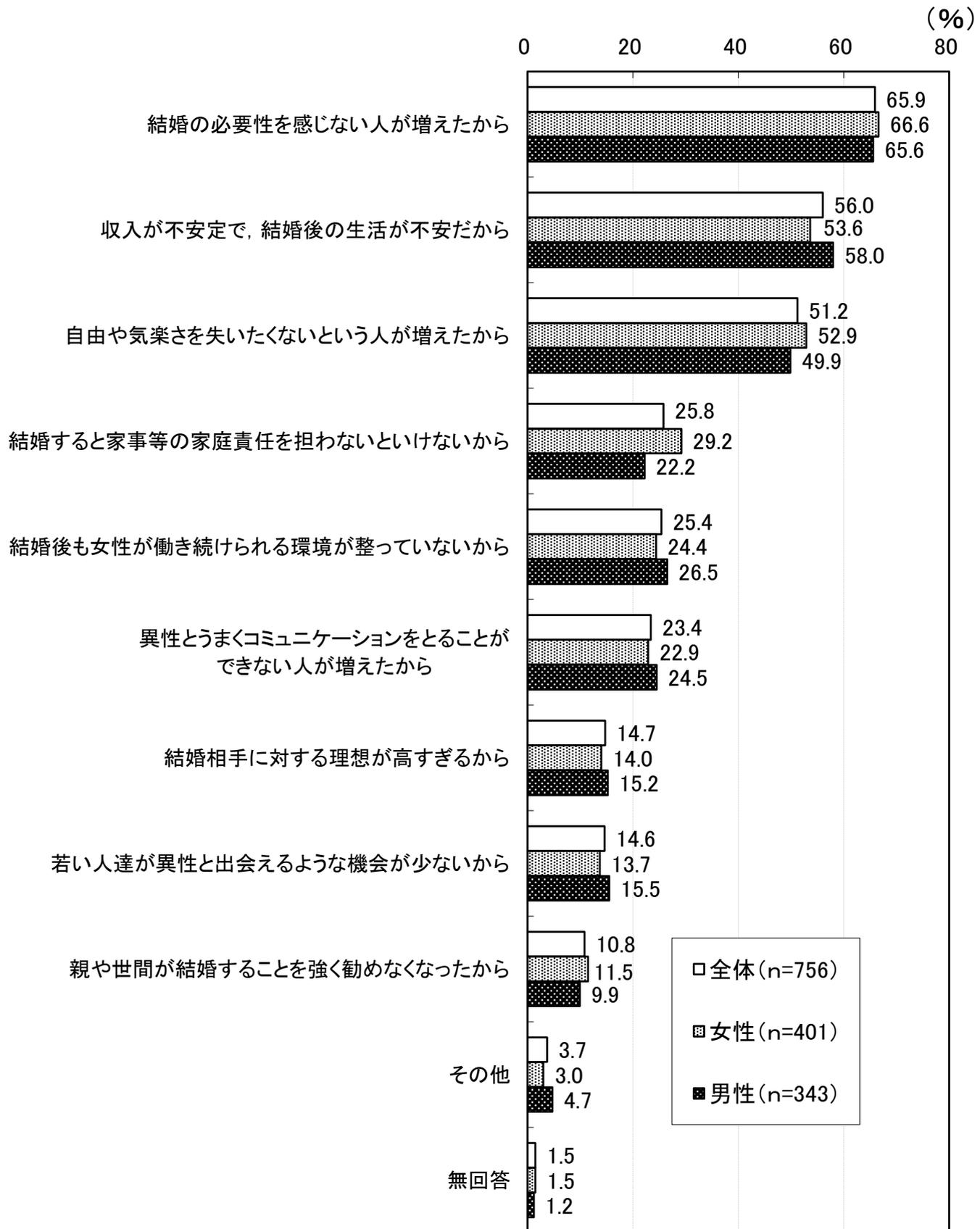


資料出典:千葉県男女共同参画課 「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)

県民意識調査において、非婚化する理由を聞いたところ、「結婚の必要性を感じない人が増えたから」が65.9%で最も高く、次いで「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」が56.0%、「自由や気楽さを失いたくないという人が増えたから」が51.2%となっています。

性別で見ると、「結婚すると家事・育児・介護（以下、「家事等」という。）の家庭責任を担わないといけないから」は女性が男性よりも7.0ポイント高くなっています。一方、「収入が不安定で、結婚後の生活が不安だから」は男性が女性よりも4.4ポイント高くなっています。

図表17 非婚化について(千葉県)



資料出典:千葉県男女共同参画課  
「男女共同参画社会の実現に向けての県民意識調査報告書」(令和元年11月)